

令和6年度 入校案内

北海道消防学校

目 次

1	入校資格	1
2	入校手続き	1
3	入校受付時間	1
4	入校者の携行品	1
5	入校に必要な提出書類等の留意事項	1
6	入校推薦受付期間	3
7	入校受付時間	4
8	MC関係特別教育受付期間等	5
9	初任教育「実務研修」	6
10	専科教育救急科「WEB講義」	7
11	別表	
(1)	入校資格一覧表 (別表第1)	8
(2)	入校に必要な提出書類等一覧表 (別表第2)	9
(3)	携行品一覧表 (別表第3)	10
(4)	布製名札作成要領 (別表第3-2)	11
(5)	実務研修報告書 (別表4)	12
12	各種様式	
(1)	入校推薦書 (様式第1号)	14
(2)	履歴書 (様式第2号)	15
(3)	健康診断書 (様式第3号)	16
(4)	研究・事例資料 (様式第4号)	17

入 校 案 内

1 入校資格

各科・課程の入校者の資格は、別表第1のとおりとします。

2 入校手続き

(1) 入校者の推薦及び必要書類の提出

入校を予定している者の任命権者は、6に掲げる入校推薦受付期間内に、別表第2に掲げる入校に必要な提出書類を添付し、様式第1号により入校者を推薦してください。

(2) 入校者の指定

上記(1)の提出書類を確認の上、6に掲げる入校指定予定日までに入校者を指定し、任命権者に通知します。

3 入校受付時間

入校者は、7に掲げる入校受付時間内に受付を終えてください。

4 入校者の携行品

入校者は、入校の際、別表第3に掲げる物品を準備し、携行してください。

5 入校に必要な提出書類等の留意事項

(1) 入校推薦書（様式第1号）

複数の者を入校推薦する場合は、階級上位から記入してください。

(2) 履歴書（様式第2号）

① 基準日

作成した日としますが、年齢及び消防歴は入校日現在で記入してください。

② 所属

- ・消防職員の場合は、消防本部名のほか、（ ）に配属先の市町村名を記入してください。
- ・消防団員の場合は、消防団名を記入してください。

③ 写真

- ・入校日から6か月以内に撮影したものを、貼付してください（電子データの貼付可）。
- ・規格は、タテ30mm、ヨコ24mm、無帽、正面、無背景、上三分身とします。

④ 出身高校（初任教育のみ）

出身高等学校名を記入してください。

なお、出身高等学校が最終学歴と同一の場合には、記入する必要はありません。

⑤ 最終学歴

学校・学部・学科名を記入してください。

⑥ 消防（団）歴・職歴

消防歴は、採用の日及び消防学校入校日が月の途中の場合は、その日の属する月を1月として計算してください。

⑦ 経歴

現在のものから順に、主だった経歴（採用以前の職歴等を含む）を記入してください。

⑧ 消防学校履修歴

1行目に初任教育を記載し、以降は直近のものから順に、記入してください。

⑨ 職業（消防団員教育のみ）

現在の職業及び職種を記入してください。

⑩ 家族の状況（初任教育のみ）

家族構成について、記入してください。

(3) 健康診断書（様式第3号） ※ 半年以内のもの

様式第3号（原本）若しくは病院等で受診した健康診断書等（様式第3号の内容と合致していること）の原本又は写しを提出してください。

(4) 研究・事例資料（様式第4号）

資料は、内容を整理して、パソコンソフト等で具体的に記入してください。また、発表や検討に必要な資料は、入校時に持参してください。作成要領・課題等は、事前に事務連絡等でお知らせします。

(5) 広域応援指揮課程について

開催場所は札幌市消防学校、入寮は北海道消防学校（予定）とし、入校に必要な提出書類等は、入校予定消防本部に別途通知します。

6 入校推薦受付期間

教育・科・課程名			教育・科・課程入校推薦受付期間等			
			入校（入寮）日	受付期間	入校指定予定日	
初 任 教 育	第154期	R6. 5. 8 (水)	R6. 3. 27 (水) ～	R6. 4. 10 (水)	R6. 4. 19 (金)	
	第155期	R6. 10. 21 (月)	R6. 9. 2 (月) ～	R6. 9. 17 (火)	R6. 9. 25 (水)	
消防職員教育	専科教育	警 防 科	R6. 4. 10 (水)	R6. 2. 21 (水) ～	R6. 3. 6 (水)	R6. 3. 15 (金)
		予 防 査 察 科	R6. 12. 9 (月)	R6. 10. 28 (月) ～	R6. 11. 11 (月)	R6. 11. 20 (水)
		危 険 物 科	R6. 11. 18 (月)	R6. 10. 7 (月) ～	R6. 10. 21 (月)	R6. 10. 30 (水)
	火災調査科	第1回	R6. 6. 12 (水)	R6. 4. 30 (火) ～	R6. 5. 15 (水)	R6. 5. 24 (金)
		第2回	R6. 9. 25 (水)	R6. 8. 14 (水) ～	R6. 8. 28 (水)	R6. 9. 6 (金)
	救 急 科	第1回	R6. 9. 30 (月)	R6. 7. 22 (月) ～	R6. 8. 5 (月)	R6. 8. 14 (水)
		第2回	R7. 1. 20 (月)	R6. 10. 28 (月) ～	R6. 11. 11 (月)	R6. 11. 20 (水)
	救 助 科	R6. 4. 8 (月)	R6. 2. 21 (水) ～	R6. 3. 6 (水)	R6. 3. 15 (金)	
	幹 部 教 育 幹 部 科	R6. 5. 28 (火)	R6. 4. 16 (火) ～	R6. 4. 30 (火)	R6. 5. 9 (木)	
	特別教育	ポンプ操法指導員課程	R6. 4. 9 (火)	R6. 2. 21 (水) ～	R6. 3. 6 (水)	R6. 3. 15 (金)
はしご自動車運用課程		休 止				
水 難 救 助 課 程		休 止				
広域応援指揮課程 (札幌市と連携実施)		入校予定消防本部に別途、通知する				
大規模災害捜索救助課程		R6. 9. 30 (月)	R6. 8. 19 (月) ～	R6. 9. 2 (月)	R6. 9. 11 (水)	
ドローン講習		休 止				
消防団員教育	基 礎 教 育	休 止				
	幹部教育指揮幹部科	R6. 11. 6 (水)	R6. 9. 25 (水) ～	R6. 10. 9 (水)	R6. 10. 18 (金)	
	特別教育	女性団員課程	R7. 3. 5 (水)	R7. 1. 22 (火) ～	R7. 2. 5 (水)	R7. 2. 14 (金)
	ドローン講習	休 止				
消防職員教育	MC関係特別教育	ビデオ硬性喉頭鏡講習	8 MC関係特別教育受付期間等参照			
		処置拡大2行為講習				

7 入校受付時間

教育・科・課程名			入校受付時間等			備考
			受付時間	入校式	卒業式・修了式	
初 任 教 育	第154期	11:30~14:50	入校日翌日の 11:30から	13:00から	※ 卒業式及び修了式は教育最終日に行います。 ※ 初任教育以外は、受付及び入校式は入校日に行います。 ※ 入校（入寮）受付は受付時間内に行います。	
	第155期					
専科教育	警 防 科	10:00~13:00	14:00から	12:00から		
	予 防 査 察 科					
	危 険 物 科	8:30~10:00	11:00から	14:30から		
	火災調査科	第1回	10:00~13:00	14:00から		12:00から
		第2回				
	救 急 科	第1回	8:30~10:00	11:00から		12:00から
		第2回				
救 助 科	8:30~10:00	11:00から	14:30から			
幹 部 教 育 幹 部 科		10:00~13:00	14:00から	12:00から		
ポンプ操法指導員課程						
はしご自動車運用課程		休 止				
水 難 救 助 課 程		休 止				
広域応援指揮課程 (札幌市と連携実施)		入校予定消防本部に別途、通知する				
大規模災害捜索救助課程		11:00~13:00	14:00から	12:00から		
ドローン講習		休 止				
消防団員教育	基 礎 教 育		休 止			
	幹部教育指揮幹部科		8:30~10:00	11:00から		14:30から
	特別教育	女性団員課程	10:00~13:00	14:00から		12:00から
		ドローン講習	休 止			
消防職員教育	MC関係特別教育	ビデオ硬性喉頭鏡講習	8 MC関係特別教育受付期間等参照			
		処置拡大2行為講習				

9 実務研修

令和6年度初任教育は、「消防学校教育訓練の基準」（消防庁告示）におおむね準拠する総教育時間数を744時間にて実施することとし、当該教育時間の一部として、各所属消防本部における「実務研修」を実施していただく予定ですので、御協力をお願いします。

○ 実務研修

「消防学校教育訓練の基準」のとおり、「実務研修」は40時間（日勤は8時間、当直は16時間）とし、目的、日程及び留意事項は次のとおりとし、具体的な研修内容は、下記(4)を参考に所属消防本部の実情に合わせて実施願います。

(1) 目的

消防学校において習得した知識、技術等について再確認するとともに、この実務研修をその後の教育訓練及び卒業後の所属勤務に反映させること、または入校前の事前研修とすることを目的とする。

(2) 日程

第154期 令和6年8月5日（月）～8月9日（金）【5日間】

第155期 教育日程の都合上、入校前に上記の「実務研修」を行い、入校時に別表第4の「実務研修報告書」を提出してください。

(3) 研修実施上の留意事項

ア 常に消防職員（公務員）である自覚を持たせるよう指導してください。

イ 消防本部の服務規程等に従い研修を受けるよう指導してください。

ウ 研修は厳正に行い、時間に遅れることなく、また言葉使いは丁寧にするよう指導してください。

(4) 研修内容（例示）

(総務関係)
消防本部(団)の組織と活動概要 職員の任免、給与、服務、分限及び懲戒等の概要 条例、規則、規定等の概要
(消防・防災関係)
消防計画、地域防災計画等の概要 受付勤務要領 消防通信業務の要領 災害警戒及び防ぎょ活動要領 消防水利の調査保全要領 消防車両・機械器具の点検整備・取扱要領 各種訓練
(予防関係)
火災予防の指導、査察指導に関すること 危険物施設の査察指導
(書類作成関係)
各種報告書類作成要領 予防関係書類作成要領

※上記のほか、必要な研修（訓練等）を実施してください。

10 WEB講義

令和6年度専科教育救急科は、「消防学校教育訓練の基準」（消防庁告示）におおむね準拠する総教育時間数を254時間にて実施することとし、そのうち76時間を所属消防本部等において、下記に示す日程に実施する講義等をリアルタイムで受講していただく必要がありますので、御協力をお願いします。

○ WEB講義の学習推奨環境

消防学校への入寮（宿泊）を要せず入校学生の所属消防本部及び自宅等においてリアルタイムで受講する必要があります。このため入校許可者の任命権者は、当該入校許可者に対するソフト面（学習時間の確保、職場の理解等）及びハード面（インターネット接続環境、パソコン、学習室等）における学習環境の用意が必要となりますので所属消防本部の実情に合わせて実施をお願いします。

(1) 授業日程

第1回 令和6年 9月2日（月）～ 9月13日（金）【10日間】
第2回 令和6年12月9日（月）～ 12月20日（金）【10日間】

(2) 推奨環境

インターネットを利用してWEB講義を行うため、ハード面の推奨環境は（必要スペック）は次のとおりです。

ア インターネット環境

インターネット回線：光ケーブル・CATV・ADSL等のブロードバンド回線

イ システム

OS：Microsoft Windows 10以降/Mac OS 11以降

閲覧ブラウザ：Microsoft Edge/Firefox/Chrome/Safari

メモリ：4GB以上

その他：ネットワークのセキュリティ設定によっては閲覧できない場合があるので、詳細は所属団体のシステム担当者等に確認するようお願いします。

(3) 留意事項

ア 受講時の服装は制服又は活動服とします。

イ 受講中は講師に対して失礼のない姿勢・態度で受講してください。

(4) その他

授業はZoomの利用を予定しています。使用するアカウント、接続試験、カリキュラム等は別途連絡します。

入 校 資 格 一 覧 表

教 育 科 課 程		入 校 資 格	備 考	
消 防 職 員 教 育	初任教育	新たに採用された職員又は初任教育未修の職員		
	専 科 教 育	警 防 科	災害現場において消防隊等の指揮業務を担っている消防士長以上の階級にある職員又は原則、次年度にそれに従事する予定の職員 (消防副士長の階級にある者で消防士長と同等の実務経験を有する職員を含む)	
		予 防 査 察 科	予防査察業務に従事している職員又は原則、次年度に従事することが予定される職員	
		危 険 物 科	危険物規制業務に従事している職員又は原則、次年度に従事することが予定される職員	
		火 災 調 査 科	火災調査業務に従事している職員又は原則、次年度に従事することが予定される職員	
		救 急 科	消防歴1年以上(初任教育入校中の期間を除く)で、救急業務に従事することが予定される職員	
		救 助 科	3年以上の消防隊経験を有する者で、救助業務に従事している職員又は原則、次年度に従事することが予定される職員	
	幹部教育幹部科	原則として係長職と同等以上にある職員		
	特 別 教 育	ポンプ操法指導員課程	ポンプ操法の指導を行っている職員又は次年度に指導することが予定される職員	
		はしご自動車運用課程	はしご自動車等の操作に従事している職員又は原則、次年度に従事することが予定される職員	休 止
		水難救助課程	水難救助業務の導入を予定している消防本部で、訓練により潜水経験のある職員既に運用している消防本部については、従事経験のある職員	休 止
		広域応援指揮課程 (札幌市と連携開催)	原則として係長職とし、現場指揮を担当する職員	
		大規模災害 捜索救助課程	原則として救助業務に従事している者で、救助科修了者又は同程度の救助技術の知識・技術を有し、消防士長以上の階級にある職員	新 設
ドローン講習		ドローン操作を予定される職員	休 止	
消 防 団 員 教 育	基礎教育	団員の階級にある消防団員(性別は問わない)	休 止	
	幹部教育 指揮幹部科	原則として部長以上の階級にある消防団員(性別は問わない) (班長の階級にある者で部長と同等の実務経験を有する団員を含む)		
	特 別 教 育	女性団員課程	女性消防団員で階級は問わない	
		ドローン講習	ドローン操作を予定される消防団員で階級は問わない	休 止
消 防 職 員 教 育	M C 開 係 特 別 教 育	ビデオ硬性 喉頭鏡講習	北海道救急業務高度化推進協議会の認めた職員	
		処置拡大 2行為講習	北海道救急業務高度化推進協議会の認めた職員	

※ 当該科及び課程の入校日から過去一定期間内(原則2年間)に北海道消防学校学則第12条第1項に定める懲戒処分を受けていない者

入校に必要な提出書類等一覧表

提出書類 教科・課程		①	②	③	④	
		入学 推薦 書	履 歴 ※写真は電子データ の貼付可 書	健 康 診 断 書	研 究 ・ 事 例 資 料	
		様式第1号	様式第2号	様式第3号	様式第4号	
消 防 職 員 教 育	初 任 教 育	○	○	○		
	専 科 教 育	警 防 科	○	○		○
		予 防 査 察 科	○	○		○
		危 険 物 科	○	○		○
		火 災 調 査 科	○	○		○
		救 急 科	○	○		
		救 助 科	○	○	○	○
	幹 部 教 育 幹 部 科	○	○		○	
	特 別 教 育	ポンプ操法指導員課程	○	○		
		はしご自動車運用課程	○	○		
		水難救助課程	○	○		
		広域応援指揮課程	○	○		
		大規模災害搜索救助課程	○	○		
		ドローン講習	○	○		
	消 防 団 員 教 育	基 礎 教 育	○	○		
		幹 部 教 育 指 揮 幹 部 科	○	○		
特 別 教 育		女 性 団 員 課 程	○	○		
		ドローン講習	○	○		
消 防 職 員 教 育	特 別 M C 開 係 教 育	ビデオ硬性喉頭鏡講習	※ 受講予定消防本部に別途、通知する			
		処置拡大2行為講習				

携 行 品 一 覧 表

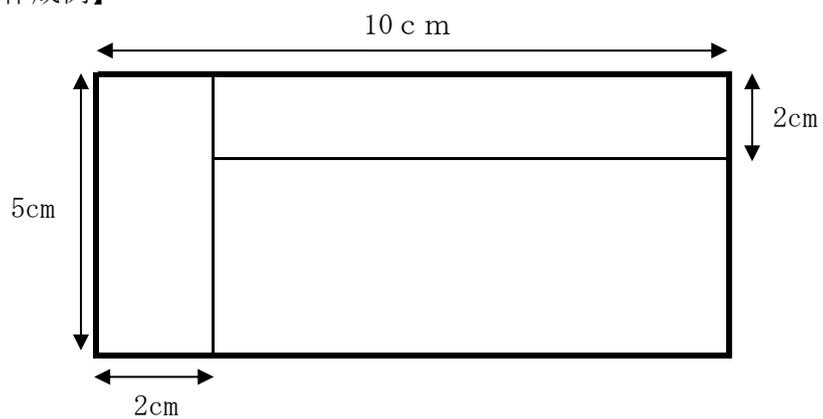
区分 教科・課程		制 服 (ワイシャツ、 ネクタイを含む)	消 防 手 帳	訓 練 服 (帽子等を含む)	救 助 服 (帽子等を含む)	黒 短 靴	編 上 靴	防 火 服	防 寒 服 等	火 災 調 査 用 長 靴	救 助 用 手 袋	作 業 用 手 袋	ケ ブ ラ ー 手 袋	救 助 用 ヘル メ ット	フル ボ デ イ ー ハ ー ネ ス	登 山 用 リ ュ ック サ ック	警 笛	防 塵 め が ね	布 製 名 札	ジ ヤ ー ジ	消 防 関 係 法 規 集	ノ ー ト パ ソ コ ン	
消防職員教育	初 任 教 育	◎	○	◎		○	○	○	◎		○	○	○	○		○			○	○			
	専 科 教 育	警 防 科	○		○				○	◎		○	○	○			○			○		○	●
		予 防 査 察 科	○		○					○			○							○		○	○
		危 険 物 科	○		○					◎			○		○					○		○	
		火 災 調 査 科	○		○					◎	○		○		○					○		○	○
		救 急 科	○		○					○		○								○			
		救 助 科	○			◎		○	○	◎		○		○	○	○		○	○	○			
	幹 部 教 育 幹 部 科	○		○				○			○								○		○	●	
	特 別 教 育	ポンプ操作指導員課程			○			○		○			○		○					○			
		はしご自動車運用課程				●		○		◎		○	○		○	○		○		○			
		水難救助課程			◎					◎		○								○			
		広域応援指揮課程	※ 入校予定消防本部に別途、通知する																				
大規模災害捜索救助課程					●		○	○	◎		○		○	○	○		○	○	○				
消防団員教育	ドローン講習			○		○		○		○				○									
	基礎教育	◎		○					○		○												
	幹部教育指揮幹部科	○		○			●		○		○			●									
	特別教育	◎		○					○		○												
消防団員教育	ドローン講習			○		○		○		○				○									
	ビデオ硬性喉頭鏡講習 処置拡大2行為講習	※ 受講予定消防本部に別途、通知する																					
備 考	◎制帽・白手袋を持参 手帳タイプのもを持参 ◎2着以上 ◎2着以上、活動服でも可 ●活動服でも可 ●長靴等でも可 ヘルメット、現場用長靴、防火フード等を含む ◎雨衣を含む ●防火ヘルメット可 墜落制止用器具の規格に適合しているもの チエーストハーネスとシットハーネスとの組合せでも可 華美なものとは不可 携行する訓練服数と同じ枚数を作成 作成要領は別表第312を参照 ●可能であれば持参																						
全科・課程共通携行品	保険証、運動靴（屋外用）、白運動靴（屋内用）、サンダル、印鑑（径が10mm位）、筆記用具、 ワイシャツは、無地無色で襟はノーマルカラーとし、オフホワイト色やカジュアルシャツは不可とする。 洗面用具、トレーニングウェア等（寮生活で使用可）、常備薬、不織布マスク、体温計、その他日用品など																						
盛夏服着用期間	6月10日（月）から9月20日（金）までの期間																						

布製名札作成要領

布地 : 白色であれば特に問わない(氏名等を記載するため、色落ちしないもの)
大きさ : 縦5cm 横10cm

- ※ 作成例を参考に黒マジックで布地に内線を引いてください。
- ※ 記入要領は、入校時に説明いたします。

【作成例】



初任教育 実務研修報告書

所 属

学生番号

氏 名

日 時	研 修 内 容	所 感
月 日 ()		
月 日 ()		
月 日 ()		

日 時	研 修 内 容	所 感
月 日 ()		
月 日 ()		
<p>「実務研修を終えて」</p>		